

当日は、管内の教員が公開授業を参観した後、全体会をワークショップ会場にてオンラインで視聴しました。ワークショップでは、公開授業や全体会での気づきや学び、自身の実践などをもとに授業改善をどのように進めるかについて、協議しました。

日 時	令和4年 11 月 17 日(木) 13 時 45 分から 16 時 50 分まで
会 場	京田辺市立草内小学校・培良中学校
主 催	京都府山城教育局・山城地方学力向上対策会議
出席者	管内小・中学校教職員(学力担当教員、研究主任、教務主任等) 管内幼稚園・認定こども園教職員(希望者) 管内府立学校教職員(希望者) 管内各市町(広域連合)担当指導主事、各地方校長会学力向上対策会議担当校長 等 計 101名

日程

	京田辺市立草内小学校	京田辺市立培良中学校
公開授業	授業者(教科) 2年2組 大東 司 (生活科) 「せかいで ひとつ わたしの おもちゃ」 4年2組 阪口 咲彩 (社会科) 「くらしのなかに伝わる願い」 5年2組 坂本 明穂 (国語科) 「たがいの立場を明確にして、話し合おう『よりよい学校生活のために』」 6年1組 山田 博之 (社会科) 「日本のあゆみ『明治の新しい国づくり』」	授業者(教科) 1年3組 杉岡 遼 (総合的な学習の時間) 「よりよい発表・表現のために」 2年3組 太田 智咲 (英語科) 「Unit6 Work Experience」 3年3組 松下 まどか (道徳科) 「その写真で大丈夫？」 (内容項目A-(1)自主、自律、自由と責任)
全体会・ワークショップ	(1) 開会行事 ア 開会挨拶 京 都 府 山 城 教 育 局 局 次 長 久 保 知 也 山城地方学力向上対策会議 会 長 俣 野 岳 イ 課題提起 京 都 府 山 城 教 育 局 指 導 主 事 芦 田 吉 生 ウ パネルディスカッション ・コーディネーター 京 都 府 山 城 教 育 局 指 導 主 事 芦 田 吉 生 ・パネラー 京田辺市立草内小学校 教 諭 山 田 博 之 京田辺市立培良中学校 教 諭 花 原 大 輔 京田辺市立培良中学校 教 諭 奥 西 弘 樹 (2) ワークショップ(公開授業別) (3) 閉会行事 閉会挨拶 山城地方学力向上対策会議 副 会 長 大 岩 洋 一	

公開授業

京田辺市立草内小学校

2年 生活科「せかいでひとつ わたしのおもちゃ」 授業者 大東 司

インタビュー等で事前に集めたおもちゃ作りの情報をもとに、本時では、作りたいおもちゃを決め、計画書を作る活動を行いました。児童は思考ツール(ピラミッドチャート)を用いて、「作ってみたいもの」「1年生に楽しんでもらえそうなもの」を基準にして考え、自分が作りたいおもちゃを決定しました。また、ICT 機器の回答共有機能を活用し、同じおもちゃを作る児童が誰か、その児童がどのような計画書を作成しているのかを確認して自由に交流しながら取り組める場が設定され、課題の解決に向けて協働的に活動し、よりよい計画書を作成することができました。



学習環境を整え、個別の学びと協働的な学びを充実させる！

4年 社会科「くらしのなかに伝わる願い」 授業者 阪口 咲彩



古い建物(文化財)を残していくことがなぜ大切なのかについて考えました。児童はこれまでに、地域にある古い建物を調べる活動を通して、保存に対する思いや願いを感じ取ってきました。本時では改めて古い建物を大切に理由について、一人一人の考えを明らかにし、協働的に学ぶ活動を通して、自分の考えを確かなものにし、新たな視点に気付いたりし、守り保存する大切さについての考えを広げ、深めることができました。

ゆさぶりでより多角的に深く考えさせ「めあて」に迫らせる！

5年 国語科「たがいの立場を明確にして、話し合おう『よりよい学校生活のために』」

授業者 坂本 明穂

単元のゴールとして「所属する委員会で提案する」ことを目指し、学習を進めました。児童は話し合い活動を通して課題について洗い出し、前時までに課題解決のためのアイデアを各自で考えました。本時では「話し合いのめあて」を確認しながら一人で考えたアイデアについて、思考ツール(座標軸)を用いながら交流し、実現可能でより効果的な解決方法について協働的な学びを通して見出しました。



ゴールの姿を明確にし、目的意識を持たせて話し合わせる！

6年 社会科「日本のあゆみ『明治の新しい国づくり』」

授業者 山田 博之



単元の導入として2つの時代の様子の違いを切り口とし、時代を変化させた人物や出来事などについて一人一人が学習課題を設定しました。初めに単元のゴールの姿として「説明動画を作成する」ことを確認し、児童は2つの時代の変化について気づいたことをカードにまとめ、グループで重要度を基準として順位付けを行いました。その活動を通して一人一人の学習課題を設定することができました。ICT 機器を活用することにより、学習の記録や共有をスムーズに行うことができ、目標の達成に向けて大きな効果がありました。

既習の学びを生かし、学習課題を主体的につかませる！

京田辺市立培良中学校

1年 総合的な学習の時間「安全マップを作ろう」

授業者 杉岡 遼

小学生へ発表した地域の危険箇所を記した「安全マップ」についてブラッシュアップする学習を行いました。小学生へ発表した内容や様子について動画で振り返り、良かった点や改善案についてまずは個人で考え、その後思考ツール(ダイヤモンド・ランキング)を活用しながらグループ協議を行いました。良い発表の条件として大切なものを順位付けしながら協議し、改善に向けたイメージを広げ、深めることができました。



課題を追究するため ICT 機器の活用で、個別最適な学びをさせる！

2年 英語科「Unit6 Work Experience」 授業者 太田 智咲



ALTに自分のことを知ってもらおうという目的で「自分の幸せカード」を作る、という学習を行いました。まずは動画でALTによるモデルを確認し、既習表現を活用し、自分の幸せなことについてICTを活用し一人一人がカードに表現しました。その後ペアで交流し、グループで発表しました。グループでは発表するだけでなく、生徒自身が使える表現を駆使して感想を伝えたり、質問をしたりし、会話を続けようと粘り強く学びに向かう姿が見られました。振り返りでは、ねらいとCAN-DOリストを併用したりフレクション・シートが用意され、本時の目標に対しての達成度を含めて振り返りました。

既習事項をフル活用しアウトプットさせる！

3年 道徳科「その写真で大丈夫？」(内容項目A-(1)自主、自律、自由と責任)

授業者 松下 まどか

フリマアプリを教材化し、情報モラルについて考える学習でした。いずれ生徒が直面するであろう場面でしたが、現在の生活体験には馴染みが薄いものでした。そこでICTを活用し、疑似体験をすることで教材と距離を縮めることができ、生徒が主体的に学びに向かうことができました。ICTの共有機能を活用し、生徒同士が瞬時に意見を共有し、再度自分の考えと向き合うこともできました。

生徒が真剣に課題に向き合い、情報モラルに関する価値観について再認識・再構築することができました。



具体的な状況から思考させることで、道徳的实践意欲を高めさせる！

全体会

パネルディスカッション

会場校それぞれの研究内容の紹介の後、公開授業において意識した授業改善の具体例について発表しました。両校とも授業のねらいや目標に迫る、達成を目指すために効果的にICTを活用することが挙げられており、この後のワークショップの視点につなげた内容を参加者に提供することができました。また、それが主体的・対話的で深い学びにつながるものであることについて、実践例を交えながら紹介されました。最後に事前質問にあった「話し合いで学びを深めさせるには」という課題に対して、ICTの活用も含め、まずは一人一人の考えを持たせることが学びを深めることにつながる、その質を高めるために教師による意図的な状況の設定や、目的を材料とするような学習活動、適切な教材の設定などを行い、児童生徒が自己調整力を発揮し見通しを持てるようにしていくこと、そして仲間が色々と違う考えを持っているからこそ対話的な学びにおいて高まっていくことなど、パネラーの実践と絡めながら協議しました。

ワークショップ

公開授業別の会場にて、山城教育局指導主事が進行役となり柱に沿って交流協議を進めました。参加された先生が、公開授業や課題提起、パネルディスカッションで得た気付きや学びと、自身の実践とつなげながら、授業改善のイメージを広げたり確認したりする時間となりました。

協議の柱(視点)

やましろ授業スタンダードを活かした授業づくり

◇ICTのメリットを活かした効果的な活用

◇意図を明確にした学習活動の設定

令和4年度山城地方教育実践フォーラム「振り返りシート」より(抜粋)

公開授業を通して学びにつながった点・今後の参考にしたい点

1 時間の流れが最初に提示されており、子どもたちが見通しを持って学習に取り組むことができていました。つい、省略してしまいがちなことかもしれませんが、主体的な学びにつなげるためには、大切なことだと思いました。

「よりよい」という深い学びへつながる大切な視点であるからこそ、話し方聞き方をきちんと全員と確認されていたので、児童がよく意見を交わしていました。

1人1台端末を使用することで、学びの共有が最も簡単に可能になるだけでなく、その共有によって自己の考えも簡単に更新することが可能になる、ということがよく分かりました。

ICT を効果的に活用した今回の授業では、自分の考えを学級全体で共有し考えを深めていくことを、全てタブレットで行われていました。授業の流れとしてもスムーズで、非常に効果的だと感じられました。

タイム・マネジメントがしっかりと出来ていて、振り返りに十分な時間が確保されていました。

生徒も相当な文章量の振り返りを記入し、それを交流することができていました。

効果的な ICT の活用方法にふれ、学びを蓄積させながら、学力の定着を図っていきたいと思いました。振り返りも、後から見直すことで、学習課題に繋がり、主体的な学びとなることに気がきました。

明確で適切な場面設定と目的のもと、生きて働く知識技能を習得するための言語活動を通してインプットが行われ、それをもとに自分自身を表現する活動が行われていました。ICT や対話を効果的に活用しながら、身に付けたい力を習得させることが徹底されており、誰にもわかりやすいゴールが示されながら、確実に力をつけていく過程を見ることができました。

ICT の効果的な活用の視点が指導案にも明記されており、子どもにどのような力をつけさせたいかがよく分かった。

低学年でも思考ツールを感覚的に理解して、めあてに最も合うと思うものを選ぼうとしている活動がよいと思いました。

生徒自身の英語を使うのが楽しい姿がたくさん見られました。それは何より教科担当の先生が、明るく元気に前向きに英語を話したり、教える姿があったりしたからだと感じます。

その上で、褒めること認めることを大切にして、生徒との信頼関係を築いていました。ICT 機器や学び合いの活用はその信頼関係と安心感のある空間の土台に成立しているのだと学びました。

授業の進め方や先生と子どもたちのやりとりから温かい雰囲気、肯定的な声掛けや優しい助言等、参考にしたいと思いました。

児童が主体的に思考ツールを活用し、一人学びに取り組むことができていました。学習課題が明確で、児童にとって考えを持ちやすい課題より、考えたい課題を設定する必要性を感じました。

本研修を通じて、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくりを進める上で、大切だと感じられたことや共有したいこと、更に深めたいこと等

主体的な学びという点では、明確な単元目標設定と、そこに到達するための手立ての明示、資料の提供などを効果的に行っていく必要があると考えた。今回の研究授業では「CMの作成」という成果物が明示されていたため、子どもたちも非常に興味を持っていたと思う。

学習の課題設定がやはり主体的な学びには重要だと改めて感じました。児童が課題解決に向けて話したい、やってみたいと思えるような課題を設定することは難しいです。しかし、それを克服できるような教材研究を普段に取り組むことが大切だと改めて思いました。

協働的な学びの中で学びを深める上で、ペアトーク、シェアリング、グループワーク等を大切にする素地を育てることと、その効果を高める雰囲気作りが大切だと思いました。

そして、相手の意見を聞いて、何かしらの反応を返していくことを普段から積み重ねていくことが大切だと思いました。

児童が自分の考えを伝え、それを受け止め合える環境づくり・学級経営が大切だと感じました。今回の授業のように、発言でつながり、深め合える学級経営を目指したいと思いました。

子どもたちが何でも話し合える土台づくりが何より大切だと感じました。話し合い方やタブレットなどのツールを使いこなしていても、学級の雰囲気が良くないと、話し合いたいという気持ちにはなりにくいと思います。参観した授業では、担任と子どもたちの関係もよくその上で、話し合いに臨んでいたと感じました。

主体的・対話的で深い学びを実現するためには、1時間の授業だけを考えるのではなく、ゴールの姿を明らかにさせた単元をデザインすることの大切さを学びました。

教師がめあてを示すだけでなく、子どもの考えや意見を取り入れながらめあてを設定することが大切だと感じました。自校の実践にも活かしていきたいと思います。

1人学びの時間をしっかりと確保することの大切さを学びました。また、深い学びを実現できるだけの課題や発問の設定が大切だと感じました。

「主体的・対話的で深い学び」につなげるためには、子どもたちの作業や話し合いの時間の重要性和確保について改めて感じました。1人学びの時間や、グループの人数設定など、細かなところまで配慮して進めていくことが大切だと感じました。

話すことが得意・苦手の関係なく自身の考えを共有できることが大切だと改めて感じました。そのためのICT機器の有効活用を試していきたいと感じました。

子どもの疑問や感想から課題設定をすることは、子どもが授業に主体的に取り組めるようになる工夫の一つであると学びました。そのためにも、授業終わりの振り返りを丁寧にすることが大切だと感じました。